

山崎 多賀子 氏 プロフィール



1960年大阪生まれ。乳がん体験者・美容ジャーナリスト。化粧品メーカーの会社員、女性誌の編集者を経てフリーに。

2005年に乳がんを告知され、右乳房全摘出、再建手術・抗がん剤・分子標的治療を受け、2007年にホルモン療法を開始、2012年終了。

闘病中には、女性誌「STORY」に、がん体験記や医療者への取材記事を連載し、これを基にした著書『「キレイに治す乳がん」宣言！』（光文社）を執筆するなど話題になる。

「キレイの力」をテーマに、女性のがん患者さんが自分らしく生きることの大切さを伝えるため、各地の病院や患者会などで講演やメイクアップセミナーを開催。がん体験と美容の専門知識を生かして「キレイ」と「心」の繋がりに着目した活動に取り組む。

NPO法人キャンサーリボonz理事。NPO法人キャンサーネットワーク認定乳がん体験者コーディネーター。女性の乳房の健康を応援する「マンマチアー」を仲間と立ち上げ、定期セミナーなど主催している。また、聖路加国際病院内支援企画のビューティリングのメイクレッスン担当である。



『「キレイに治す乳がん」宣言！』

山崎 多賀子 著 2007年 光文社